

第8回全国書写書道伝統文化大会
令和元年度全国学生書き初め展覧会

【中央審査委員会賞】

岡山県・聖徳大学附属女子高等学校2年
酒井 美亜里

書の学びが心の成長につながる取り組みを

今回の出品作品は北魏の楷書の臨書作品としました。この書の名品の特徴でもある「角張っている強い線」をどのようにしたら筆で表現出来るかを何回も臨書し試行錯誤しました。

墨を濃くすり、墨をたくさんつける事が大事だというアドバイスを得て、さらに直線的な線や強い横画の角度を平行にし、同質の綺麗な線を書くことが次第に出来るようになってからは、作品の全体構成としての布字や行間の統一感を図り、点画で折れるところをさらに強くし、表現のバランスが良く見えるように工夫しました。

表現の知識や臨書の持つ独特の用筆法を学びながら、自分で改善目標を立て、部員同士の相互鑑賞などで感じた部分の練度を高める取り組みを進めてきました。

今回の受賞を励みにし、これからも書道の学びが自分の心の成長に繋がっていく取り組みを継続し、豊かな作品づくりを目指していきたいと考えています。ありがとうございました。